**第3章　事後学習ワークシート**

1.　以下の文の「　」の中の文章は，保育所保育指針，幼稚園教育要領，幼保連携型認定こども園教育・保育要領のいずれかから抜粋してきた文である。空欄に適切な用語を，下記に示した語の中から選んで入れてみよう。同じ語を複数回入れてもかまわない。

幼稚園教育要領と幼保連携型認定こども園教育・保育要領において，「幼児（乳幼児期）の自発的な活動としての（　　　　）は，心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な（　　　　）であることを考慮して，（　　　　）を通しての指導を中心としてねらいが総合的に達成されるようにすること」と書かれている。しかし保育所保育指針には，保育所での遊び自体を学習であると明記した文章はなく，小学校との連携に関するところに「保育所においては，保育所保育が，小学校以降の生活や（　　　　）の基盤の育成につながることに配慮し，幼児期にふさわしい生活を通じて，創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること」とある。この「小学校以降の生活や学習の基盤の育成」については幼稚園教育要領と幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも書かれてあり，保育における「学習」は小学校における学習を示すことが多い。

保育所保育指針には，保育所において生涯にわたる生きる力の基礎を培うため育みたい資質・能力の一つとして，「心情，意欲，態度が育つ中で，よりよい生活を営もうとする「（　　　　）に向かう力，人間性等」」を育むよう努めるものとしている。また「保育の質の向上を図っていくためには，日常的に職員同士が（　　　　　）に（　　　　　　）姿勢と環境が重要であり，職場内での研修の充実が図られなければならない」と書かれている。子どもたちに「学びに向かう力，人間性等」を培ってほしいならば，保育者の「主体的に学び合う姿勢」を子どもたちに見せられるようにしてほしい。

保育所保育指針には，「保育所においては，保育所保育が，小学校以降の生活や（　　　　）の基盤の育成につながることに配慮し，幼児期にふさわしい生活を通じて，創造的な思考や（　　　　）な生活態度などの基礎を培うようにすること」と書かれている。

|  |
| --- |
| 欲求・食事・語彙・言葉・環境・尊重・愛情・意思・学び・遊び・学習・主体的・利己的・学び合う・競い合う |

2.　学習理論関係の研究に関する記述で不適切と思われる文章にチェックを入れてください。（複数回答可）

□(1) ソーンダイクは，ネコの問題箱と呼ばれる実験装置（図3－1）を用いた実験で，ネコが試行錯誤を繰り返すことによって，問題箱の鍵をはずして外に出られるようになる時間が短くなっていくことを示した。このような試行錯誤による学習のことを試行錯誤学習という。

□(2) パブロフは，音とエサという刺激の対呈示によって刺激間に連合が起こり，音の刺激だけで唾液を分泌するという反応が生じるようになったことを発見した。これを古典的条件づけともいう。

□(3) ワトソンらは，ラットやハトが，偶然にレバーに触れてエサを手に入れることを何度も経験するうちに，レバーを自発的に押し下げる回数が増えていく。このような自発的に起こるオペラント行動の直後の環境の変化に応じて，その行動のその後の自発頻度が変化する学習を発見した。これをオペラント条件づけという。

□(4) ケーラーは，チンパンジーが，周囲の状況から洞察することによって問題解決をしていくという学習が成立することを発見した。このような洞察による学習のことを洞察学習という。

□(5) バンデューラらは，恐怖条件付け実験を行った。アルバートという乳児に白いネズミを見せて，乳児が触ろうとすると，その背後で鋼鉄の棒をハンマーで叩いて大きな不快な音をたてるということを繰り返し経験させた。すると実験後に乳児はネズミを怖がるようになった。

□(6) スキナーらは，子どもが他人の行動を見るだけで，他者をモデルとして，そのモデルの行動を習得して，模倣する学習のことを観察学習（モデリング学習，模倣学習）といい，社会的学習理論を提唱した。

□(7) セリグマンらは，イヌに電気ショックから逃れられないという経験を繰り返し体験させた後で，そのイヌを電気ショックから逃れられるところに入れても，もはや逃れようとしなくなってしまったことを発見した。このように努力しても無駄だという無力感を学習してしまうことを学習性無力感という。

3.　第3章「子どもの学びの理論」の第3節「学びと学習の成立と条件」を読んで，あなたが保育者になったときに，どのような姿勢で，どのようなことに気を付けて，子どもたちの「学びに向かう力，人間性等」を育む保育をしていきたいのか，簡潔に述べてみよう。

**：200字程度**

|  |
| --- |
|  |